

33 芝浦工業大学

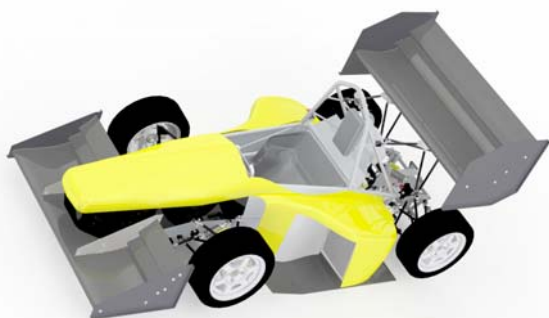
Shibaura Institute of Technology

3年ぶりの全種目完走 上位との壁

芝浦工業大学 Formula Racing

Shibaura Institute of Technology Formula Racing

<http://shiba4.firebird.jp/>



Presentation プレゼンテーション

マシン名: S011

前回大会、第11回全日本学生フォーミュラ大会において、私達はエンデュランス残り3周でリタイヤ、全種目完走を逃してしまいました。あの時から、第11期プロジェクトは始まりました。大会終了後の試算ではエンデュランスを走りきれた場合総合10位。私達は第12回全日本学生フォーミュラ大会の目標を総合6位と定め、活動を行いました。

第11期開発車両S011のコンセプトは「コーナリングマシン」としました。S010で向上を果たした出力を受け止め、速く曲がれる車両をという思いが込められています。そこで前後にウイングとアンダートレイを搭載、フルエアロ化を行い、またサスペンションジオメトリーの徹底的な見直しを行いました。さらにエンジンは今まで使用していた4気筒600ccエンジンであるPC37Eから軽量化が図られたPC40Eに変更、加えて点火カットシステムの導入やペダルガイドの搭載など、ドライバビリティの向上も図っています。

5月中旬にシェイクダウンを迎え、走り出したS011は少なからず問題を抱えていました。しかしながら、走行・調整を重ねる内に改善され、大会では悲願の全種目完走を果たすことができました。目標には届かなかったものの、確実に車両ポテンシャルは向上しています。来年こそは日本大会総合6位を達成するため、開発を続けて参ります。

Participation report 参戦レポート

今年は日本大会総合6位をめざし臨みました。開発車両S011は、問題点が残ってはいないものの大きなトラブルはなく、むしろ何が起ころのではないかと心配でした。

大会初日、まずプレゼンテーション審査と技術車検を行いました。プレゼンテーション担当者を送り出し、向かった技術車検では数箇所の指摘事項を受けてしまいました。2日目はデザイン審査、車検、そしてコスト審査と続きます。静的審査では準備不足が露呈した結果となりました。車検はスムーズとは行かないまでも、車検項目全てを通過し、3日目に備えることになります。

3日目はいよいよ動的審査が始まります。当日は太陽が顔を出さず、路面温度はまったく上がりませんでした。S011にとってこのようなコンディションでの走行は初めてでした。準備不足が心配されたアクセルレーションは17位、スキッドパッドは5位。午後のオートクロスはセッティングが合わず15位。エンデュランスAグループには滑り込めたものの、車両に問題を抱える形となりました。

4日目はプラクティスをこなし、5日目はエンデュランス。確実に完走をめざしました。冷却に問題を抱えるS011でしたが、なんとか走りきることができました。エンデュランスは9位。燃費は15位。そして総合10位。3年ぶりに全種目完走を果たすことができたものの、目標であった総合6位には及ばないことを痛感させられた日本大会でした。

最後になりますが、日々の活動を支えてくださっているスポンサーの皆様、大学関係者の皆様、誠にありがとうございました。



今回の総合結果・部門賞

●総合10位 ●日本自動車工業会会長賞

Profile チーム紹介・今までの活動

芝浦工業大学FormulaRacingは11年目を迎えました。日本大会は第2回大会から参戦し、過去にはアメリカ、イギリス、タイの大会に参戦しました。今年は学部1年生から院2年生まで合計29名が活動しております。今年度は日本大会総合6位を目標に活動しました。

Team-member チームメンバー

大澤 悠太 (CP)

斎藤 寛泰 (FA)、林 寛之、小久保 陽平、高見 祐貴、土屋 聡、清水 祐汰、野口 誠之、吉野 暁大、石川 泰、及川 雄也、大石 遊、小林 京介、佐藤 祐也、富樹 貴大、堀江 健太、山内 瑛、渡邊 睦士、大河原 悠介、金澤 瑞樹、野上 達大、吉田 匠吾、石岡 司、井上 翔太、櫻本 雄仁、黒木 雅也、鈴木 佑奈、高山 篤士、松本 賢、山口 溪

Sponsors スポンサーリスト

アールエーシー、RSコンポーネンツ、アールケー・ジャパン、アスペクト、American Honda Motors、アルバック機工、アローレーシングサービス、ウメオカ、エッチ・ケー・エス、エヌ・エム、ビー販売、NOK、エヌケーエヌ、NTN、遠藤木型、大屋技術伝承塾、関東工業自動車学校、キャロッセ、協永産業、協和工業、黒坂鍍金工業所、ケーヒン、小林機工、小原歯車工業、三晃製作所、ジュニアモーターパーク クイック羽生、住友電装、ソフトウェアクレイドル、大模精機、太陽ステンレスブリック、タジマモーターコーポレーション、津留崎製作所、TeXtreme、デンソー、東京アールアンドデー、東洋測器、所沢軽合金、日新鋼管、日信工業、ニフコ、日本発条、ハイレックスコーポレーション、ファクトリー-I.T.O、フィアローポレーション、深井製作所、フューチャーテクノロジー、プラスミュー、本田技研工業、本田技術研究所、ミスミ、水戸工業、ミルインターナショナル、UDトラックス、ユタカ技研、横河工事、レイズ、ワークスベル、和光ケミカル

Team-Movie <http://www.jsae.or.jp/formula/jp/12th/movie/33.html>